

星をみせし...

2009. Autumn Vol.7



宇宙に忘れられた帽子

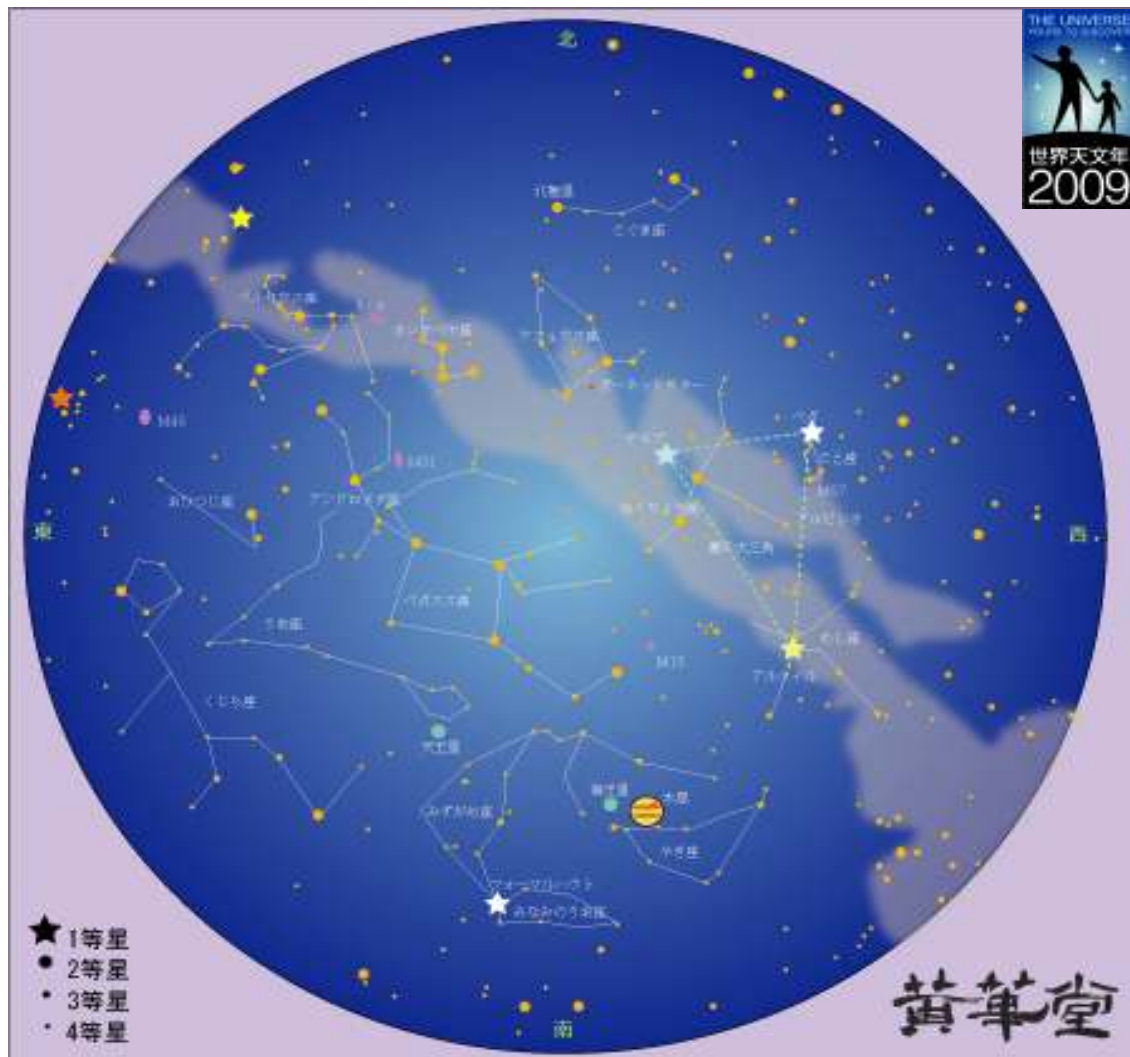
「これは何だ？」と思うかもしれませんが、星の集団である銀河なんです。

私たちからみてちょうど真横方向(edge-on)を向いているためにこのようにみえます。銀河の端が黒く見えるのは星間物質という宇宙のちりが多くあるからです。そのため星の光がちりによってさえぎられているのです。

このように私たちは地球からしか天体をみたことがありません。宇宙に飛び出し、銀河系を飛び出したらどのようにみえるのでしょうか？

ちなみにソムブレロという名前の由来は、縁が広がった、中心が高いメキシコの帽子に似ている所から名付けられたそうですよ。

見上げてごらん 「秋の星空と星座」



夏の間、南の空で目立っていたさそり座は南西の空に沈みかけ、秋の星座が顔を出します。南の空には、さそり座にかわって、やぎ座やいて座が輝くようになります。東の空からは、4つの星が長方形に並んだ秋の四辺形が昇ってきます。秋の四辺形は、ペガサス座の胴体部分の星並びです。星座を探す目印として、春、夏、冬には大三角がありますが、秋は大三角ではなく四辺形があります。

秋の夜空は、明るい星が少ないのですが、南西～天頂～北東の空にかけて天の川が見られます。街明かりの少ない場所へおでかけのさいは、ぜひ天の川も探してみてくださいね。

☆ペガサス座

頭の真上やや南よりに、手のひらぐらいの大きさで四角い星の並びがあります。地味な星々ですが、周りに明るい星が少ないため意外とよく目立ちます。ここが天馬ペガサスの胴体です。南西側に首から頭、北西側に2本の前足を伸ばし、翼を持った姿で描かれますが、実はこのペガサスには下半身がありません。ペガサスはあまりにも速く空を駆けるので、私達には前半分しか見えないそうです。

ペガサス座の北東にはアンドロメダ座、南東にはクジラ座、南には秋の星空の中でひときわ輝くみなみのうお座の1等星フォーマルハウトも見つけることができます。ペガサス座は、秋の星座の案内人になっているのです。

☆木星（太陽系第5惑星）

やぎ座のあたりで、黄金色をした明るい星が木星です。木星は、-2.7等級もの明るさで輝き、夜空の中で最も目立ってみえます。

望遠鏡を向けてみると、表面のしま模様がみえます。また、ガリレオ・ガリレイが発見したことで「ガリレオ衛星」と呼ばれるようになった、4つの明るい衛星も見ることができます。衛星は、時間をかけて観察すると、位置が変化して見えますよ！

400文字のギリシャ神話「秋の星座」 ～勇敢な青年ペルセウス～

セリポス島に、ペルセウスという青年がいました。ある日、島の王は若者を招いて宴会を催しました。招待された若者は、みな王への貢物を持ってきましたが、ペルセウスは手ぶらで出かけてしまいます。そんなペルセウスに、王は怪物メドゥーサの首を取ってくるように命じたのです。それだけではありません。もし首が取れなければ、ペルセウスの母ダニエを王の妻にすることも約束させたのでした。

メドゥーサは、蛇の髪、猪の牙、黄金の翼と青銅の手をもち、目が合った者を全て石に変えてしまうという恐ろしい怪物です。ペルセウスは、怪物メドゥーサを倒す方法も思いつかぬまま化け物の住む国へ旅立ちました。そんな母親思いの青年に、神々が救いの手を差し伸べます。姿を消せる兜、鏡のように磨かれた盾を授かったペルセウスは、盾でメドゥーサの姿を写し、目を直接見ないようにしながらメドゥーサの首を切り落としました。

ペルセウスは、剣を振りかざし、メドゥーサの首を持った姿で夜空に描かれています。

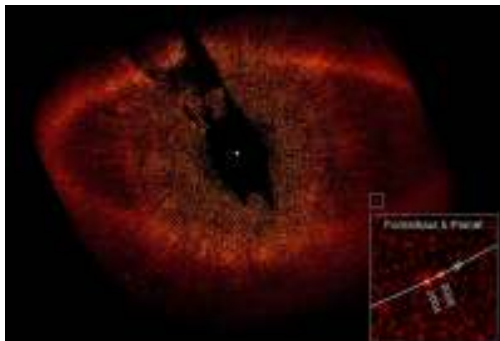
楽しい天文学入門 「第二の地球をさがせ！」

「宇宙人っているの？」よくある質問の1つです。確かに気になりますよね。地球以外に生命が住む星はあるのかって。現在の天文学は、その間に科学的に答えようとしています。

そのキーワードの1つが「系外惑星」。系外惑星とは、太陽以外の恒星の周りを回っている惑星のこと。夜空に光る星のほとんどが恒星ですから、その中で、惑星を持っているヤツを探してやろう、という訳です。惑星が見つければ、そこに生命がいるかも！？ という発想ですね。

しかし、そう簡単にはいきません。惑星自体を見つけるのも一苦労ですし、技術的に見つけやすいこともあって、見つかる惑星の多くが木星のような巨大ガス惑星…。それでも技術が進歩して、ようやく岩石質惑星も見つかりつつあります。昨年には、非常に難しいとされてきた惑星の直接撮影にも成功！しかもその星は 1 等星、みなみのうお座のフォーマルハウト。あの星の周りに惑星が回っているんだ…と思うと、なんだかワクワクしませんか？

今では、系外惑星を探す専用の宇宙望遠鏡「ケプラー」も動き始めました。第二の地球が見つかる日も、そう遠くないかもしれませんね！ (塚田 健)



ハッブル宇宙望遠鏡が捉えたフォーマルハウトの周囲の塵円盤と惑星（フォーマルハウトの光は装置で遮られているが、中央の白点の位置にある。）画像提供：NASA/STScI

黄華堂からのお知らせ 「今後の活動予定」

秋は星を見るには良い季節ですね。10月3日（土）には十五夜の名月を見る事が出来ます。この日、黄華堂は京都府立植物園で行われる「名月鑑賞の夕べ」で観望会をおこなう予定です。また、11月には青少年のための科学の祭典京都大会に出展予定です。

ちなみに「Life on the Planet」も順調に続いています。秋は9月26日、10月17日の予定です。秋の夜長にゆっくりと星や月に親しむ機会を持ちたいものですね。

“子どもたちに本物の星空を！”をテーマに活動している星空ボランティアグループ

Mail : info@oukado.org HP : <http://www.oukado.org/>

Mixi : http://mixi.jp/view_community.pl?id=2816441

・・・あなたも黄華堂に参加しませんか？メールでご連絡ください。

黄華堂

